

## 日本最大級のソフトパックティシュー加工機稼働

～業界に先駆けた設備で需要構造の変化に対応～

大王製紙株式会社（住所：東京都千代田区、以下「大王製紙」）は、この度、大王グループのエリエールペーパー株式会社（住所：静岡県富士宮市、以下「エリエールペーパー」）にて、ソフトパックティシューの加工機を新たに稼働します。当社が生産・販売する「i:na（イーナ）ソフトパックティシュー」は、植物由来原料をパッケージフィルムに一部採用し、コンパクト化したことで、ボックスティシューと比較し、約34%のCO<sub>2</sub>排出量を削減<sup>※1</sup>するなど、環境に配慮した商品です。近年、ソフトパックティシュー市場の伸張は著しく、大王グループではお客様ニーズにいち早く対応するため、本設備を導入します。



エリエールペーパー ティシュー加工設備



大王製紙が展開するソフトパックティシュー

### ■加工機について

新たに稼働した設備は、これまでエリエールペーパーにてボックスティシュー加工機として稼働していた設備をソフトパックティシュー加工機へ改造したものです。本設備は、従来ボックスティシューで使用されるマルチスタンド方式を採用することで、従来設備と比較し高速での生産が可能となり、当社のソフトパックティシューの供給能力は倍増します。当社は国内大手メーカーとしていち早くソフトパックティシューの量産体制を構築した知見を活かし、高速生産時でもティシューの形を崩さずに包装できる技術の開発を進めることで、今回の新設備が実現しました。マルチスタンド方式でのソフトパックティシュー生産は、日本国内で前例のない業界に先駆けた設備投資です<sup>※2</sup>。

- 1) 生產品種 ソフトパックティシュー
- 2) 生産能力 月産 約 1,000 t
- 3) 設置工場 静岡県富士宮市（エリエールペーパー株式会社）
- 4) 営業運転開始 2022年11月

※1. 当社調べ

※2. 当社調べ

### ■ソフトパックティシューについて

ティシューペーパーは、その包装形態から紙箱に入った『ボックスティシュー』と、フィルムだけで包装された『ソフトパックティシュー』に分かれます。これまで市場ではボックスティシューが主流商品でしたが、2011年頃よりソフトパックティシューが普及し始め、2022年4～9月期においてティシューカテゴリーにおいてシェア20%を超えるまでに伸張しています<sup>※3</sup>。この要因として、持ち運びのしやすさや、使い終わった後にゴミが減らせることで、エコに繋がるといった利点が寄与しています。

当社は 2019 年よりソフトパックティシューの生産および販売を開始し、現在はスタンダードタイプの『i:na（イーナ）』のほか、保湿成分を配合した高品質タイプの『+Water』の展開にて、トップシェアを有しています<sup>※4</sup>。

※3. インテージ SRI+データ ティシュー市場（累計販売容量）2022 年 4 月～9 月

※4. インテージ SRI+データ ソフトパックティシュー市場 シリーズ計（累計販売金額）2021 年 4 月～2022 年 3 月

#### ■ 今後について

大王グループは、経営理念『世界中の人々へ やさしい未来をつむぐ』の実現に向け、「衛生、人生、再生」の 3 つの「生きる」をビジョンに掲げ、事業活動を通じた社会課題解決に取り組んでいます。エリエール商品はこれまで、『キレイラ！トイレクリーナー 1 枚で徹底おそうじシート つめかえ』や、EC 限定販売の生理用品『エリス 素肌のきもち ナチュラルシリーズ』など、パッケージをフィルムから紙へ変更することでプラスチックの使用量を削減しております。また資材の削減や輸送に伴う CO<sub>2</sub> 削減に貢献可能な長尺トイレットペーパーの商品展開数を増やすなど、環境に配慮した商品展開に積極的に取り組んでおります。今回、新たに稼働した設備で環境に配慮したソフトパックティシューの生産をより一層進めることで、SDGs の目標「12. つくる責任、つかう責任」に引き続き、貢献してまいります。

---

#### 【本リリースに関する問い合わせ先】

大王製紙株式会社 総務部広報課 北野、ウーデン TEL : 03- 6856-7501

※商品に関しては、下記までお問い合わせください

エリエールお客様相談室 フリーダイヤル : 0120-205205（受付 9:30~16:30/土日祝日を除く）